

総合経済対策の決定を踏まえて

2023年11月6日

十倉 雅和
中空 麻奈
新浪 剛史
柳川 範之

1. 経済対策の効果的な実行

「賃金と物価の好循環」に向けて、今が正念場である。持続的な賃上げや活発な投資が経済をけん引する「新たなステージ」へのスタートダッシュとしての経済対策を早期に実行すべき。その際、対策の意義を十分に説明するとともに、政策のパッケージ化により効果的な実行を図る。

- 今回の給付・減税措置を含め経済対策が、「新たなステージ」に入っていくための政策パッケージとして機能するようにし、それを国民に丁寧に説明すべき。
- 経済対策の効果を高めるためには、必要な施策を組み合わせることが重要¹。省庁間の連携を強化するため、政策群毎に中心となる省庁を定め、実行の早期化と進行管理に責任を持たせる。
- 経済対策を契機として、デフレから完全脱却して経済を再生し、経済成長と財政健全化の両立を図る道筋を明らかにすべき。

2. 「対策」を契機として次の政策展開へ

「新たなステージ」へとつなげるためのマクロ経済運営を行うとともに、今後3年程度の「変革期間」において、フロンティアの開拓、デジタル技術の社会実装等、「供給力の強化」に向けて、思い切った施策を集中的に講じることが重要。

- **賃金・物価の上昇を「新たなステージ」へとつなげる**
 - ー 来年度予算については、コロナ禍を脱する中で歳出構造を平時に戻していくとともに、賃金や物価の動向を適切に反映。(例: サービス政府調達における賃金・物価状況の反映、契約途中の急激な物価高騰に対応するための契約条項の普及等)
 - ー 物価動向への国民の関心が高まる中で、物価の現状や先行きについて、CPIの国内・海外要因、四半期の見通しなど諮問会議で議論を深める、また、ポストデフレのマクロ経済運営について多角的に検討
- **フロンティアの開拓・社会変革の実装化・省庁横断連携の強化**
 - ー 来年度当初予算、税制改正に加え、規制・制度改革等についても、省庁横断の政策パッケージ化を進め、フロンティアの拡充、地域のスモールビジネスなど社会実装の展開を国民に見える化
- **多年度での効果的政策実行**
 - ー 今後3か年を変革期間として、新しいステージに向けて取組を加速する観点から、基金や各種の多年度計画について、将来の執行見通しの開示方針を改革工程表に取り込み、諮問会議でチェック・フォロー

¹ 例えば、ドローン物流の普及については、ドローン飛行に関する「規制改革」の観点だけでなく、道路が寸断されるなどの緊急災害時に即座する「防災」の観点、山間・離島地域等の「地域活性化(生活物資の輸送等)」の観点等を組み合わせることが重要。